令和 7 年度事業報告

自　令和 7 年 4 月 1 日
至　令和 8 年 3 月 31 日

令和 7 年 5 月 10 日、Knots は 25 周年を迎えた。
当法人では CI（Corporate Identity）として、ロゴ、イメージイラストを刷新、パンフレット、名刺、封筒、背景幕の作成、記念バッジの配布などを行った。





ロゴ、イメージイラストは、当年度、1-(8).野生動物有効活用推進事業、および 4.害者自立支援事業である「あったらいいなシリーズ」パッケージのリニューアル、また、1-(11). 情報提供事業での出展実施時の展示において活用した。
今後、啓発活動、広報において活用する。

Ⅰ　事業活動の概況に関する事項

誰一人取り残さない社会を目指す国連の SDGs における 17 の目標を達成するため、日本政府は“「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現”をキーワードに、あらゆるステークホルダーの参画を重視し、官民の垣根を超えた形で連携を推進する方針を掲げている。また、SDGs の「誰一人取り残さない社会」とは、当法人が人と動物のより良い共生の推進の中で取り組んだ「ICAC KOBE 2015 第 4 回神戸全ての生き物のケアを考える国際会議 2015」のテーマ「One World, One Life ―ひとつの豊かな地球は、ひとつひとつのいのちの幸せを繋いでいくことで構築されていく―」の目標と相通ずるものがある。これらを踏まえ、当法人は、令和 3 年 1 月、定款第 3 条を変更し、「人と動物のより良い共生の推進」と併せて「SDGs の推進」を図ることにより、人そして動物の福祉の向上に資することを目的とするとともに、第 4 条を変更し、「SDGs を進めるための知識の普及啓発」「SDGs にかかわる教育」「SDGs にかかわる情報の収集、提供、研究」「SDGs を進めるためのコンサルティング」等の SDGs 推進事業を追加し、今後ステークホルダーとして SDGs の推進に貢献していくこととした。

令和 3 年度に新たに公益事業として認定された「SDGs 推進事業 ―One World, One Life―」において、令和 3 年度より神戸市から受託の「こうべ動物共生センター管理運営業務」は、令和 8～10 年度も継続して管理運営業務を実施することが決定した。

以下のとおり、当年度も、人も含めた全ての動物の幸せ及び福祉の向上を実現させるため、人と動物のより良い共生及び SDGs を推進する、啓発、教育、研究等の事業を、国内外にその分野の関係団体・専門家・行政機関等に幅広く連携を求めて実施した。

１．啓発事業

人と動物のよりよい共生を進めるための知識の普及啓発や情報交流、情報提供を行うために、国際会議、シンポジウム、セミナー、展示会、イベント、ドッグスポーツ大会等を幅広く一般の人々を対象に実施するとともに、災害発生時には緊急的に被災者支援を行う。

正確な情報をより的確に提供出来る様、開催にあたっては、国内外のその分野の関係団体、専門家、行政機関に幅広く協力を求め、連携のもとに行う。

また、人と動物のより良い共生に尽力した企業、団体を表彰する機会を設けたり、商品の製造・販売を通して野生動物の有効活用事業の啓発を行い、人と動物のより良い共生の推進を図る。

その他、人と動物のよりよい共生を進めるため、個人、団体、企業、行政等を対象に、人と動物の共生に係るコンサルティングも必要となるため、第一種動物取扱業（展示）の登録が必要となる。

（１）神戸　全ての生き物のケアを考える国際会議（ICAC KOBE）One World, One Life

阪神・淡路大震災 15 年を契機に、人も含めた全ての動物の「いのち」に対する責任について考え、人及び動物が幸せに共生できる社会の構築を目指し、震災で多くを学んだ神戸の街から、情報交流、情報発信を行っていく為に 2 年に 1 回実施予定。「お互いの存在に『感謝』し、生ある限りは『幸せ』に暮らすこと。それが、いのちに対する『責任』である」とし、生きとし生けるものが、この地球上で幸せに暮らせる社会にしていく為、様々な専門分野の連携のもと、私達人間に出来ることを幅広く議論する場を提供する。One World, One Life とは「ひとつの豊かな地球は、ひとつひとつのいのちの幸せを繋いでいくことで構築されていく」 という概念であり、各々のいのちに寄り添う社会構築に向け情報交流、発信を図る。会議の発表内容は後日、日英両文にてウェブ上に掲載し、無料で閲覧出来るようにする。

また、この国際会議の認知度を高めるために、国際会議の動物キャラクターを活用して動物キャラクターグッズ（アイテム）等を活用し会議の周知を図ってきたが、令和 5 年度より国際会議に特化せず SDGs 推進のキャラクターとした。令和元年度供用開始をした LINE スタンプも SDGs 推進キャラクターとして引き続き活用する。

【令和 7 年度実施】

企業からの寄附の在り方も CSR から CSV へと変化してきたことからも、これまでどおりの規模での開催は予算的にも難しく、開催に至らなかった。

（２）りぶ・らぶ・あにまるず シンポジウム

2001 年より開催。国内外の人と動物のより良い共生に関わる様々な情報を、シンポジウムを通して提供している。参加費は原則無料にし、学生、一般の方などに広く参加を呼びかけている。当日の発表内容は後日、ウェブ上に掲載し、無料で閲

覧出来るようにする。

【令和 7 年度実施】
なし

（3）セミナー、講演会

人と動物が幸せになるために必要な、共生に関わる様々な情報を提供し、より良い共生の推進の一助とする。シンポジウム同様発表内容については、出来得る限りウェブ上に掲載し、後日無料で閲覧出来るようにする。

【令和 7 年度実施】
当法人主催での実施はないが、こうべ動物共生センター事業として谷口優先生によるセミナー「伴侶動物と暮らす人はなぜ健康なのか？」を開催した。

（4）ドッグスポーツ大会「りぶ・らぶ・あにまるず フェスティバル」

2001 年は、パブリックフォーラムとして開催し、翌 2002 年より初心者向けドッグスポーツ大会（飼い主さんと愛犬が一緒にフリスビーやアジリティ（障害物競走）、ダンス、カニクロス（愛犬と一緒に走るレース））として、開催。

2009 年から、毎年春に行っていた「Y 2 Day with Dogs」とジョイントし、動物に関わる様々な団体のご協力のもと、ドッグスポーツ大会と一緒に、身体障害者補助犬・ワーキングドッグのデモンストレーション、ライブ、神戸市犬猫譲渡制度の PR などステージプログラムや展示も同時開催。

2016 年からは、六甲山カンツリーハウスとのコラボレーション事業として開催している。

また、イベントとして行うことで、様々な事情で飼育が出来ない子ども達にも動物愛護教育の場として、活用されている。特に近年では、ペットと暮らすことによる人と動物双方の生理学的な好影響も明らかになってきており、高齢者や子ども達への、心理的・教育的影響とも合わせ、人類が長い歴史の中で培ってきた生物としての共生関係に基づく、人とペット双方の心身の健康への貢献についても情報共有を図る。

令和元年度より、ドッグスポーツ大会と一緒に行っていた補助犬、ワーキングドッグのデモンストレーション、ライブ、神戸市犬譲渡制度の PR などステージイベントは、公益社団法人神戸市獣医師会、神戸市動物愛護協会、公益社団法人 Knots の 3 団体で構成する実行委員会を設置し、動物愛護フェスティバルを行ってきた。

令和 2 年度をもって神戸市動物愛護協会が活動を終了されることとなり、実行委員会の構成団体等は未定であり、実行委員会の在り方について検討している。

運動会＆ゲーム大会は六甲山カンツリーハウスドッグラン事業と連携した開催とし、人と動物の共生情報発信拠点構築の一助とする。令和 3 年度より六甲山カンツリーハウスドッグラン事業は縮小され、休止している。

【令和 7 年度実施】

運動会＆ゲーム大会は六甲山カンツリーハウスドッグラン事業が休止となっており、実施できなかった。

（5）「ずっと一緒に居ようよ プロジェクト」

「ずっと一緒に居ようよ プロジェクト」は、フェスティバルのメンバーが発起人となり、東日本大震災での飼主さん支援が発端となって始まった。震災での緊急時のみならず、平時においても人と動物が絆を保ち幸せに暮らせるような社会システムを構築するため、その方策を議論研究して提案し、これらの情報を発信、その実現化を支援する。

例えば、2015 年の国際会議（ICAC KOBE）では、分科シンポジウムの中の 1 つとして「地域を幸せにする伴侶動物飼育支援システム―伴侶（家庭）動物の暮らしを地域活性へ」というテーマで数名の方の発表があり、人と伴侶動物が地域で共に幸せな生活ができ、尚且つそれが地域の活性に活かされるような社会システムを構築することができるのか、その可能性について考察した。2016 年には、このシンポジウムの成果を論文にまとめ、シニア社会学会誌に掲載されており、全文をウェブサイトにて公開、情報発信し、その実現化を支援している。

この成果を活用し、６．SDGs 推進事業 ―One World, One Life―の「こうべ動物共生センター」管理運営業務の公募型プロポーザルにおいて《こうべ動物共生プラットフォーム》の構築を令和 3 年度より企画提案している。受託後は新型コロナウイルスの影響で関係部局との調整が困難であったが、当年度より《こうべ動物共生プラットフォーム》を構築していく。人と動物の共生に関わる様々な課題の解決を目指し、関連団体や動物取扱業登録事業者、関連事業の事業者、ボランティア等や原則として各地域の中学校区ごとに一つある地域包括支援センターや社会福祉協議会、自治会、病院、学校等とも連携・協働し「人も動物もずっと一緒に幸せに暮らせる SDGs 視点を持ったあたたかな神戸市」を実現する。なお、上述の論文については、こうべ動物共生センターの視察・見学に来訪される自治体関係者等にも配布している。

また、令和 6 年 1 月 1 日発災の能登半島地震が激甚災害と指定されたことを受け、５．ペットと暮らす住まいに係る支援金助成事業として「ずっと一緒に居ようよプロジェクト 令和 6 年能登半島地震『被災者のペット可物件入居支援金』助成事業」を令和 6 年 1 月 17 日より開始した。

【令和 7 年度実施】

・学会誌に掲載された論文を、当法人ウェブサイトに掲載し、当法人が神戸市から運営を受託しているこうべ動物共生センターの見学者等に配布し、情報発信を行った。

・事業計画に記載の《こうべ動物共生プラットフォーム》に関しては、こうべ動物共生センターにおいて、神戸市北区社会福祉協議会とともにセミナーを開催

し、最後まで幸せに飼い続ける仕組み作りを進めている。「６．SDGs 推進事業 ―One World, One Life―」も参照。

・『ずっと一緒に居ようよプロジェクト 令和６年能登半島地震 被災者のペット可物件入居支援金』助成事業を継続して行った。（５．ペットと暮らす住まいに係る支援金助成事業でもある）
令和６年４月 17 日に被災地を訪問し、石川県獣医師会に協力をいただき、引き続き支援の受付を行っている。
＜助成申込＞令和８年３月 31 日現在３件（うち３件支給）
＜寄附金額＞令和８年３月 31 日現在６件 135,000 円

（６）りぶ・らぶ・あにまるず賞

人と動物の共生に尽力されている商品や企業活動を高く評価すると共に、感謝の気持ちを伝える。対象期間は１年間、毎年一般の方々の応募により、ノミネートし、選考委員の投票によりグランプリを決定する。

【選考委員】
横山 章光氏（あいわクリニック院長・精神科医）
児玉 小枝氏（フォトジャーナリスト／どうぶつ福祉ネットワーク 代表）
西田 孝廣氏（六甲山観光株式会社 取締役観光事業部長）
星 信彦氏（神戸大学教授・獣医師）
冨永 佳与子（公益社団法人 Knots 代表理事）

近年、人と動物の共生に向けての事業が多様化し、同一の賞の中で判断が難しくなったこと、共生意識の高まりによって敢えての推薦が少なくなったことから、令和２年度をもってこの事業は休止とした。

【令和７年度実施】
なし

（７）イベント、ドッグスポーツ大会　六甲山カンツリーハウスわんわんドッグフェスタ運営協力

期間限定のドッグラン、ワンちゃん大運動会、ゲーム大会等の運営協力を行う。

本事業に沢山の飼い主さん、ワンちゃんにご参加頂くことで、動物と暮らす楽しさ、幸せを実感して頂く。そのことがより良い共生推進の一助となり、利用者に狂犬病予防法の遵守を条件付けることで、飼育者の責任の認識を高めることにも寄与している。令和３年度より六甲山カンツリーハウスドッグラン事業が縮小され、休止している。

【令和７年度実施】
なし

（8）野生動物有効活用推進事業

近年、日本の各地でシカ、イノシシなどの増えすぎた野生動物による農村部での森林被害、農業被害が深刻化している。そのため、多くの野生動物達が、自然環境や生態系を守るために、有害鳥獣として捕獲されているが、その殆どが活用されないまま産業廃棄物として処理されている。兵庫県では、年間約 2〜3 万頭のニホンジカが有害捕獲されており、兵庫県の令和 6 年度の農林業被害額は合わせて 1 億 65 百万円となっている。

このような問題に対処し、動物達の「いのち」を無駄にしないためにも、彼らの肉や骨、皮などを有効に活用していくことが、地域振興や新しい産業の創出の可能性を含め、現在大きな課題となっている。

この有効活用を進めることで、産業が生まれ、雇用機会の創出につながり、ひいては生産者の方々の生活向上の一助となる。また、自然環境や生態系が保全されることにもなる。

Knots では、有効活用推進のため、情報提供や犬用おやつの開発・製造・販売に取り組んでいる。開発、製造には、障害者の方々のみならず、実際に農業被害を受けておられる土地で生活されている主婦グループの方々にも参加して頂いており、新たな産業の創出や地域振興に挑戦している。

添加物等一切加えず、天然由来の原料で製造した、これらのおやつは品質が良く、愛好家も多い。これらの商品を手に取って頂くことで、野生動物のおかれている現状に一般の方々にも目を向けていただくことにつながる。

また、Knots は、「野生動物研究会」（令和 7 年 1 月 15 日をもって活動終了）の幹事を務めていた。

※野生動物研究会（旧ニホンジカ有効活用研究会）とは、

兵庫県森林動物研究センターと、兵庫県内でシカ肉の有効活用に取り組んでいる企業、団体、個人が研究会を組織し、当時最大の課題であったシカ肉利用促進に向けた情報の収集、共有を図ることにより消費者のニーズにあった供給体制を研究し、シカ肉利用に関する正確な情報発信を行うことにより、需要の拡大を図り、野生動物資源利用を通じた地域振興と人と野生動物のより良い共生社会の構築に資する研究会事業を行なっていたが、シカ肉については、流通に掛かるネットワーク組織も立ち上がった為、野生動物全般に掛かる共生研究へと対象を広げることになった。

【令和 7 年度実施】

・Knots25 周年にあたり、CI によるロゴ、イラストを使用し、パッケージデザインのリニューアルを行った。

・参加可能なイベントへ出店（出展）し、兵庫県で駆除された鹿を使用した犬用おやつの販売を行った（1．啓発事業（１１）情報提供事業、4．障害者の自立支援事業でもある）。当年度出店（出展）したイベントは以下のとおりである。

国際盲導犬デー（主催：社会福祉法人兵庫盲導犬協会）
令和 7 年 4 月 29 日（火・祝）　会場：湊川公園
動物感謝デー in わかやま
（主催：和歌山県馬事畜産振興協議会／公益社団法人和歌山県獣医師会）
令和 7 年 10 月 26 日（日）　会場：和歌山城公園 西の丸広場
動物感謝デー in Japan（主催：公益社団法人日本獣医師会）
令和 7 年 11 月 15 日（土）　会場：上野恩賜公園
京都動物フォーラム 2026（主催：公益社団法人京都市獣医師会）
令和 8 年 3 月 22 日（日）　会場：梅小路公園七条入口広場

（9）各種コンサルティング、相談業務の実施

動物と安全に楽しく暮らすための相談対応、ペット可集合住宅での管理組合・管理会社のサポート、野生動物との関わり方等、人と動物の共生に係る様々な相談に対応。また、人も動物も快適な住まいや旅行等の商品開発の為のコンサルティングを実施。人と動物のより良い共生を推進し、人も動物も幸せにする為に、必要な相談及びコンサルティング業務を行う。令和 4 年度には、ドッグラン運営やペットの入店可能なエリアを拡大する事業展開を行う企業、また、自治体からの教育事業に関する仕組みづくり等のコンサルティング依頼があり対応してきた。令和 5 年度は、前年度から継続したコンサルティング以外に、これまでペット業界に参入されていなかった企業の方々からの新規のコンサルティング依頼が増加した。
これらのコンサルティングを継続して行い、これまでの事業経験を活かした専門的なアドバイスを行い、コンサルティング契約を結ぶ等の事業化を目指す。

【令和 7 年度実施】
・某企業より、わんわんフェスティバル開催について相談があり、アドバイスを行った。
・某財団より、飼育者支援の仕組みについての相談があり、アドバイスを行った。

（１０）Knots MODEL CLUB

テレビや雑誌などから紹介（出演）の問い合わせが多くあったことから、これを市町村への犬の登録、狂犬病予防接種など病気予防と健康管理、しつけなどを条件として本法人で登録し、ウェブサイトに無料で公開することで飼主さん自慢の犬が、モデル的に伴侶動物として大切にされている姿を見て頂き、広く一般の方々にも、人と動物の幸せな共生を見て頂くことで啓発する。
SNS の普及に伴い新規登録が減少していることから、新規登録については休止する。

【令和 7 年度実施】
新規登録ではないが、登録者より写真、登録事項変更の依頼があったため、対応した。

（１１）情報提供事業

主にウェブサイト、メールマガジン等を通して、幅広く不特定多数の方々に人と動物の共生及びSDGsに関わる様々な情報を提供していく。

なお、情報提供の機会ともなるイベントへの出店（出展）は、当法人の事業紹介だけでなく、犬用おやつの販売と併せて自立支援事業について広く知っていただく場となる。（４．障害者の自立支援事業でもある。）

【令和７年度実施】

当法人の事業について広く知っていただき、人と動物のより良い共生およびSDGs推進に役立たせていただけるよう、幅広く不特定多数の方々に人と動物の共生およびSDGs推進に関わる様々な情報の提供を行った。

・ウェブサイトでの情報発信

当法人のウェブサイトは、人と動物のより良い共生および SDGs 推進に関わる様々な情報を発信するだけでなく、国内外の各分野の専門家や自治体、団体、個人を繋ぎ、当法人の事業をとおして蓄積された知識や情報を、必要なときに必要な人に届けるなど、多様な役割を担っている。また、事業に関する自治体や企業、団体からのコンサルティングや視察、相談などの窓口にもなっており、当法人の名称でもある「Knots（結び目）」としての重要なコミュニケーションの場となっている。

＜主な更新内容＞

5月　Knots 25 周年のお知らせ／PIIA Knots リレーエッセイ No.201
6月　PIIA Knots リレーエッセイ No.202
7月　PIIA Knots リレーエッセイ No.203
8月　WJVF 第 16 回大会 参加レポート
10月　「秋のキッズフェスタ 2025」東京青山 RC『人と動物の絆ブース』出展協力報告
11月　2025 動物感謝デー in わかやま 参加レポート
12月　あったらいいなシリーズ リニューアルのお知らせ／令和 7 年度「いのちの教育」プログラム研修会
1月　こうべ動物共生センター「防災わんにゃんフェスティバル 2025」開催告知
2月　PIIA Knots リレーエッセイ No.200
3月　人と動物の共生および SDGs 推進シンポジウム 2024『ペットとの暮らしを活用する豊かな社会－それを可能にする環境整備－』記録集公開

・メールマガジン（Knots Club News）の配信

当法人事業の成果を広く共有し、人と動物のより良い共生および SDGs 推進に役立たせていただけるよう、メールマガジンの配信を通して、人と動物の共生および SDGs 推進に係る情報を提供した。配信先は 1,400 を超える。

毎月 1 回の配信を目指し 333 号～344 号、Knots25 周年記念号の配信を行った。

当法人の事業情報、当法人が神戸市より運営を受託している「こうべ動物共生セ

ンター」（６．SDGs 推進事業 ―One World, One Life―）の各月の参加者募集プログラムの案内、あったらいいなシリーズ犬用おやつ（４．障害者の自立支援事業および１－（８）野生動物有効活用推進事業）の販売情報、他団体のセミナー情報、能登半島地震支援関連情報等、主な配信内容は以下のとおりである。

＜主な内容＞

333 号：　第 23 回 国際盲導犬デー in 神戸 ブース出展／「第 3 弾！世界のクマ研究最前線｜地球の未来をクマの生態から読み解く」クラウドファンディングに挑戦中！）／ずっと一緒に居ようよプロジェクト令和 6 年度能登半島地震『被災者のペット可物件入居支援金』助成　ほか

334 号：「PIIA Knots リレーエッセイ」（NPO 法人 動物弁護団 監事 津久井進先生）／兵庫介助犬協会 クラウドファンディングに挑戦中！／ずっと一緒に居ようよプロジェクト令和 6 年度能登半島地震『被災者のペット可物件入居支援金』助成　ほか

335 号：「PIIA Knots リレーエッセイ」（奈良女子大学文学部心理学コース教授、奈良県うだアニマルパーク「いのちの教育」研究協議会員　天ヶ瀬正博先生）／Knots YouTube チャンネル　ほか

336 号：中山裕之先生が Knot の顧問に就任／Knots 編集犬ぴーちが虹の橋へ旅立ちました／CAPP 活動に参加されていた、天皇ご一家の愛犬「由莉」ちゃん　ほか

337 号：2025 動物感謝デー in わかやま出展案内／こうべ動物共生センター実施事業案内　ほか

338 号：こうべ動物共生センター　こうべ動物共生フェスティバル実施案内／ズービキティシンポジウム（Zoobiquity Symposium）　－ワンヘルスが導く医療と獣医療の新時代－開催案内　ほか

339 号：こうべ動物共生フェスティバル　こうべ福祉・健康フェア開催／令和 7 年度「いのちの教育」研修会の開催／2025 動物感謝デー in わかやまへの出展／秋のキッズフェスタ 2025 への出展　ほか

Knots25 周年記念号：Knots は今年 25 周年を迎えました

340 号：「PIIA Knots リレーエッセイ」（ALLONE 動物病院 礒見優先生）／産業情報新聞社「ペット＆Life」休刊／「秋のキッズフェスタ 2025」参加レポート／「2025 動物感謝デー in わかやま」参加レポート　ほか

341 号：あったらいいなシリーズ リニューアル／谷口優先生によるセミナー開催案内（こうべ動物共生センター事業）／おすすめ図書　ほか

342 号：令和 7 年度「いのちの教育」プログラム研修会 開催報告／谷口優先生によるセミナー開催案内（こうべ動物共生センター事業）　ほか

343 号：令和 8～10 年度 こうべ動物共生センターの管理運営業務を受託／おすすめ図書　ほか

344 号：京都動物フォーラム 2026 に出展　ほか

・リレーエッセイ

有限会社産業情報新聞社発行のペット産業情報新聞ペット＆Life に、「PIIA Knots リレーエッセイ」としてコラムを連載している。当法人に関わりのある様々な分野の識者に執筆を依頼し、当法人のテーマである「人も（ヒト以外の）動物も幸せな共生」について多様な切り口でメッセージを頂いている。

2025 年 7 月 203 号（Web 公開）10 月 204 号（未公開）をもって、ペット＆Life が休刊となった。

No.201：特定非営利活動法人どうぶつ弁護団　監事：津久井進先生
《もの言えぬ動物の代弁者として、動物虐待から護る》

No.202：奈良女子大学文学部心理学コース教授：天ヶ瀬正博先生
《動物たちの存在はヒトの心に刻まれる～人間中心主義の転換へ》

No.203：麻布大学獣医学部　教授：菊水健史先生
《イヌとのつながり、ホルモン、社会、進化》

No.204：ALLONE 動物行動診療所 獣医師：礒見優先生
《行動診療科ってなに？　》

※No.204 は産業情報新聞社の許可、提供により、当法人のウェブサイトで公開した。

・学会誌抜き刷り冊子の配布

「第 98 回日本獣医史学会研究発表会」（令和 2 年 10 月 17 日（土)開催）で当法人・冨永代表理事が発表した「（公社）Knots の活動と 25 年の歩み―小さな結び目は社会を変える―」が日本獣医史学雑誌第 58 号（2021 年 2 月 20 日発行）に掲載されたが、その発表内容が出版社により抜き刷り冊子として印刷・製本可能となったため、当法人の紹介資料として関係者に配布した。当法人ウェブサイトの団体概要のページにも掲載している。

・他団体主催事業へ出展し、情報発信、啓発を行った

当年度の出展は以下のとおりである。

国際盲導犬デー（主催：社会福祉法人兵庫盲導犬協会）
令和 7 年 4 月 29 日（火・祝）　会場：湊川公園

秋のキッズフェスタ 2025」東京青山 RC『人と動物の絆ブース』
秋のキッズフェスタ 2025（主催：体験の風をおこそう運動推進委員会）
令和 7 年 10 月 25 日（土）～26 日（日）
会場：独立行政法人　国立青少年教育振興機構　国立オリンピック記念青少年総合センター
「人と動物の絆ブース」（主催：東京青山ロータリークラブ）に出展

動物感謝デー in わかやま
（主催：和歌山県馬事畜産振興協議会／公益社団法人和歌山県獣医師会）
令和 7 年 10 月 26 日（日）　会場：和歌山城公園 西の丸広場
動物感謝デー in Japan（主催：公益社団法人日本獣医師会）
令和 7 年 11 月 15 日（土）　会場：上野恩賜公園
京都動物フォーラム 2026（主催：公益社団法人京都市獣医師会）
令和 8 年 3 月 22 日（日）　会場：梅小路公園七条入口広場

２．教育事業

人と動物のより良い共生を進めるために役立つ情報を、主にインターネットを通して幅広く提供。実施した会議やシンポジウム、講演会等の貴重な内容については、可能な限りウェブサイト上で、日英両文にて公開し、当日会場に来られなかった全世界の不特定多数を対象に教育の機会を設ける。

また、人と動物のより良い共生を推進する為、一般市民はもとより、関わる専門家、学生等にとっても有益な知識、情報を提供するべく国際会議、セミナー、研修会イベント等を実施、その他学校の教育事業に協力する等、人材の育成、知識の向上、児童及び青少年の健全育成に貢献する。この事業の一環として動物を伴って教育事業を行うこともあることから、第一種動物取扱業（展示）の登録が必要となる。

（１）情報提供による教育機会の提供

人と動物のより良い共生の推進の為に、開催する国際会議、シンポジウム、セミナー等の内容は、全て後日、記録集（可能なものについては、日英両文にて制作）としてウェブサイト上で無料公開し、会場に来られなかった不特定多数の方々へ教育の機会を提供する。機会があれば随時、セミナー、講演会を実施し、情報と教育の機会を提供する。

また、海外の文献を翻訳し、人と動物の共生に関わる情報を提供していく。

（１．啓発事業（１１）情報提供事業でもある）

【令和 7 年度実施】

・ウェブサイト　https://knots.or.jp/

研修やセミナー等の参加者募集案内や当法人が主催（奈良県うだ・アニマルパーク振興室と共催）した「いのちの教育」研修会（２－（３）奈良県「いのちの教育」連携協定事業）の報告のほか、当法人職員が参加したセミナー、イベント等の参加報告を掲載するなど、随時更新を行っており、研修やセミナー等の報告を通して、来場できなかった方々への教育の機会を提供した。産業情報新聞ペット &Life に定期的に掲載していただいている「PIIA Knots リレーエッセイ」では、「人も（人以外の）動物も幸せな共生」をテーマに、識者の皆様よりメッセージを頂き、業として関わる方々にも、最新の概念をお伝えしていく機会としており、 ペット &Life に掲載された「PIIA Knots リレーエッセイ」は、Knots ウェブサイトにも掲載した。ウェブサイトの更新情報はメールマガ

ジンの配信を通して広く周知を図っている。
（１－（１１）情報提供事業でもある）

・メールマガジン（Knots Club News）の配信
当法人事業の成果を広く共有し、人と動物のより良い共生および SDGs 推進に役立たせていただけるよう、メールマガジンの配信を通して、人と動物の共生および SDGs 推進に係る情報を提供した。
毎月 1 回の配信を目指し 333 号～344 号のほか、特集号の配信を行った。

当法人が神戸市より運営を受託している「こうべ動物共生センター」（６. SDGs 推進事業 ―One World, One Life―）の各月の参加者募集プログラムの案内およびプログラム実施報告、あったらいいなシリーズ犬用おやつ（４. 障害者の自立支援事業および１－（８）野生動物有効活用推進事業）の開発・販売情報、他団体のセミナー情報等のほか、主な配信内容は、１－（１１）情報提供事業で示したとおりであり、各種研修会やセミナー開催情報だけでなく、開催報告、参加報告等の情報提供を行うことで、参加できなかった方々への教育の機会も提供した。
（１―（１１）情報提供事業でもある）

・産業情報新聞ペット &Life「PIIA Knots リレーエッセイ」記事連載
「人も(人以外の)動物も幸せな共生」をテーマに、識者の皆様よりメッセージを頂き、業として関わる方々にも、最新の概念をお伝えしていく機会とした。
ペット &Life に掲載された「PIIA Knots リレーエッセイ」は、Knots ウェブサイトにも掲載し、メールマガジンで掲載をお知らせして情報を提供した。
2025 年 7 月 203 号（Web 公開）10 月 204 号（未公開）をもって、ペット & Life が休刊となった。

（２）講師の派遣

専門学校、セミナー等への講師派遣を随時実施、人材育成、知識の向上及び青少年の健全育成に貢献する。

【令和 7 年度実施】
・公益財団法人ハーモニィセンター 新年互礼会
以下の日程で開催された公益財団法人ハーモニィセンター 新年互礼会において、当法人代表理事 冨永佳与子が講演を行った。
日時：令和 8 年 1 月 19 日（土）
会場：東京・オリンピックセンター センター棟 304 号室
演題：「人と（ヒト以外の）動物の共生について」

（3）奈良県「いのちの教育」連携協定事業

平成 24 年度（2012 年度）に奈良県と締結した『奈良県いのちの教育展開事業』に於ける連携協定に基づき、奈良県「いのちの教育」プログラムの普及を奈良県と共に推進する。動物を通じた教育は、いのちを大切にし、共感力を育む教育として文部科学省の指導要領にも盛り込まれており、アジア型ヒューメイン・エデュケーション構築に取り組み、人も動物もお互いを思いやれる未来へ寄与するものである。この事業は、主に、自治体等の教育に関連する職員等に対してこのプログラムを軸とした研修会、講演会等を実施する。これらの取り組みの成果や研究発表はウェブサイトで多くの方に無料で公開することで教育の機会を提供、また、このウェブサイトを閲覧した方への啓発にもなる。多くの自治体職員や教育関係者がメールマガジンなどの情報でサイトの内容を見ていただくことにより、他府県での教育ツール導入のきっかけを創出し、より多くの子どもたちが奈良県「いのちの教育」プログラムを受けることができる仕組みを提供している。この事業を通じて、いのちに対する責任が生まれ、思いやりの心も養われ、豊かな人間性を涵養する。

奈良県「いのちの教育」連携協定事業の一環として、うだ・アニマルパーク振興室で実施されている「いのちの教育」プログラムの取り組み内容や、その成果などを全国の動物行政や教育関係者などと情報共有をして、今後の更なるプログラムの内容のブラッシュアップや他の自治体での取り組みとの連携などを目的として奈良県「いのちの教育」研修会を定期的に開催している。

また、当法人代表理事は、「いのちの教育」を推進するために設置されている奈良県「いのちの教育」研究協議会（会長：国立大学法人奈良女子大学 天ヶ瀬正博先生）の委員を務めることとなっており、年に 2 回開催される研究協議会に出席し、奈良県「いのちの教育」プログラムのブラッシュアップを図っている。

【令和 7 年度実施】

・奈良県「いのちの教育」研修会開催

関西エリアだけでなく、鹿児島県、宮城県など遠方から関係者が参加。各地で実際に子どもたちに接している現場の職員が一同に介して情報交換ができる機会はなかなかないため、「動物のいのち」を通した子どもの教育の情報発信拠点として重要な役割を担っている。

開催日：令和 7 年 11 月 19 日（水）

開催場所：奈良県うだ・アニマルパーク 振興室 動物学習館

主催：奈良県うだ・アニマルパーク振興室／公益社団法人 Knots

後援：奈良県教育委員会／公益社団法人日本動物病院協会／公益社団法人奈良県獣医師会

内容：

・主催者挨拶（うだ・アニマルパーク振興室 佐々岡正 室長/公益社団法人 Knots 冨永佳与子 代表理事）

・模擬授業（小学生プログラムⅠ　気づき）（45 分授業）

・授業見学（小学生プログラムⅡ　共感）～A 小学校～（45 分授業）

・授業見学（小学生プログラムⅢ　責任）～B 小学校～（45 分授業）

・「いのちの教育」の経緯及び取組について
小学生プログラムの現状と評価（アンケート結果）報告
・意見交換
・愛護センター施設見学（希望者のみ）
・「いのちの教育」中高生プログラム概要紹介（希望者のみ）

・ウェブサイト掲載やメールマガジン配信による研修会情報提供
上記日程で開催の奈良県「いのちの教育」研修会開催情報、参加者募集、研修会報告について、広く情報提供を行った。当年度の研修会には、全国 17 自治体職員（千葉県、愛知県、豊橋市、一宮市、四日市市、大津市、大阪府、大阪市、八尾市、吹田市、兵庫県、香川県、徳島県、岡山市、福岡市、熊本県、鹿児島県）、宮城県、奈良県の獣医師の参加があった。研修会では、「いのちの教育」プログラムの授業見学や奈良県の取組について情報を得るだけでなく、各自治体での「いのちの教育」プログラムをはじめとした教育事業の実施状況や各自治体が抱えている課題を共有して情報交流を行っている。研修会報告だけでなく、参加された自治体で実施されている「いのちの教育」の情報についてもウェブサイトに掲載し、メールマガジンで報告掲載について広く発信することで情報提供および教育の機会の提供を行った。このような報告を通して、研修会への参加意欲を促し、自らの自治体が抱える課題などを見つめ直すことができるきっかけを与えている。

・奈良県「いのちの教育」研究協議会（2025 年 7 月 14 日（月） ）
奈良県「いのちの教育」展開事業は、上記協議会にて実施内容の検討・方向性の決定が行われている。当法人代表理事が、令和 5 年 6 月まで副会長を務め、副会長職の廃止に伴い、以降は委員として参画している。

・第 4 回奈良県「いのちの作文コンクール」
奈良県「いのちの教育」展開事業が継続される中で奈良県教育委員会主催の第 3 回奈良県「いのちの作文コンクール」が開催され、冨永代表理事が 2026 年 2 月 21 日（土）に奈良県「いのちの作文コンクール」表彰式（奈良県うだ・アニマルパーク振興室 動物学習館）に参列し、講評を述べた。

（4）教育ツール共有事業

現在、全国の動物愛護（管理）センターなどでは、「いのちの大切さ」や「適正飼養」「殺処分数減少」を目的とした、子どもたちへの教育活動の必要性に対する認識が高まっている。

こうした現状を踏まえ、これまでに各地の動物愛護（管理）センターと共に企画開発を行い、すでに導入されて教育現場で実績のある動物愛護教育およびヒューメイン・エデュケーションに関するツール類を共有する事業を展開する。また、使用実績や実施レポートなどの情報を報告し、日本におけるヒューメイン・エデュケーションの向上と各自治体間の連携の促進を図り、少しでも多くの自治体で人と動

物のより良い共生の推進を図ることで、心豊かな社会の実現を目指す。

例えば、「いのちの教育」プログラムのツールは大型張り子版と黒板での実施ができる簡易版があるが、希望する自治体があれば奈良県と本法人の許可を得て、それぞれの自治体の特性に合わせた改良を行って制作・使用することが可能である。そうした方法を取ることにより、教育プログラムの企画開発のための余力がない自治体でも、すでに実績のあるツールを導入することができる。「いのちの大切さ」や「適正飼養」「殺処分減少」を目的とした、子どもたちへの教育活動の普及啓発にとって非常に有益な手段である。

【令和 7 年度実施】

複数の自治体より、教育ツールの見積依頼があり、対応した。

3．研究事業

人と動物のより良い共生及び SDGs を推進する為に必要な情報収集と研究を行い、その情報を幅広く提供することで、啓発、教育事業を行う。

また、企業、行政、団体等からの依頼により、人と動物の共生に関わる調査研究等実施する。啓発、教育、研究いずれの事業を実施する場合においても、国内外の関係団体、個人、企業、行政機関の連携、協力は不可欠であるため、企業、行政、団体等からの依頼により、人と動物の共生に関わる調査研究等を実施し、情報の収集と発信に関する事業を展開する。

【令和 7 年度実施】

・こうべ動物共生センターにおける啓発

「神戸市人と猫との共生に関する条例」「神戸市人と猫との共生推進協議会」の紹介パネルの展示、紹介ポスターの掲示を行い、デジタルサイネージを活用して「神戸市人と猫との共生推進協議会」の活動について情報発信を行った。併せて「神戸市人と猫との共生に関するガイドライン」（神戸市人と猫との共生推進協議会発行）の概要版および野良猫版を市民に配布し、当該条例と当該協議会について周知を図った。

・神戸市人と猫との共生推進協議会定例会議への出席

第 1 回：2025 年 5 月 22 日（木）

第 2 回：2026 年 3 月 19 日（木）

・神戸市人と猫との共生推進協議会主催保護猫譲渡会サポート

開催日：2025 年 10 月 19 日（日）

開催場所：こうべ動物共生センター

4．障害者の自立支援事業

当法人が販売している安全安心な犬用手作りおやつの殆どは NPO 法人おーけすとら・ぴっと就労継続支援（B 型）事業所 Patch（パッチ）に製造を担当していただいている。また、開発より関わっていただき、新商品の開発も共に行っている。2002 年に Patch の創設者より「Patch は、障害者の方が製造したものだから、と同情で商品を購入していただくのではなく、正当な評価のもと、一般の商品と競争出来る商品作りを行

うことで、障害者方々が社会参加出来る作業所を目指したい」という相談があった。
そこで、意識の高い飼い主のニーズに合った安全、安心な犬用おやつを販売することが、障害者の方々の自立支援となるのではないかということで、一緒に開発、製造、販売に取り組むこととなった。その後、Patch は製造担当として品質管理等にも注力され、商品の品質も認められて、今では多くの顧客が定期的に購入をして下さっている。その結果、モデル作業所として認められ、他所からの視察も多い。
また、この事業の推進によって、障害者の方々が仕事に対するやりがいを感じ、当初の目的であった、メンバーの方達の通所費用を賄えるところまで、運営は進んだ。今後もこういった形での自立支援を行っていきたい。
売上を上げることで作業所の適切な事業所運営が可能となり、Patch の皆さんの自立支援となるため、令和 5 年度よりふるさと納税返礼品の事業者登録（兵庫県・神戸市）や、当法人への寄附に対する返礼品の発送を行っている。さらに、イベント出店時には現金支払い以外に PayPay を導入し、購入しやすい体制を整えている。

【令和 7 年度実施】

・あったらいいなシリーズ犬用クッキー等の販売
動物病院等への卸売、Knots Shop（ネットショップでの小売）での販売のほか、「国際盲導犬デー in 神戸」、「2025 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」、「2025 動物感謝デー in 和歌山」「京都動物フォーラム 2025」で出店（出展）販売を行った。
・Knots25 周年にあたり、CI によるロゴ、イラストを使用し、パッケージデザインのリニューアルを行った。
ヤギミルククッキーの開発（2026 年 6 月販売開始予定）。
・播州鹿を使用した犬用おやつの販売（1－（8）野生動物有効活用推進事業でもある）
動物病院等への卸売、Knots Shop（ネットショップでの小売）での販売のほか、「国際盲導犬デー in 神戸」、「2025 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」、「2025 動物感謝デー in 和歌山」「京都動物フォーラム 2025」で出店（出展）販売を行った。

5．ペットと暮らす住まいに係る支援金助成事業

1．啓発事業（5）「ずっと一緒に居ようよ プロジェクト」の一環として行う被災した被害者に対するペット可物件への入居費用の助成は、毎年計画的に実施するものではなく、発生した災害が激甚災害として指定された時に緊急的に実施する。ペットと一緒に生活できる環境を取り戻すことで被災者の自立を支援し、被災者が立ち直っていく姿を周囲の方々にも見て頂き、ペットと一緒に暮らすことの大切さを理解して頂くことで啓発にもなる。

<助成事業の概要>
事業の目的：当法人は、人と動物のより良い共生の推進を図り、人そして動物の福祉の向上に資することを目的としており、この事業は、被災の程度、ペットの種類に関わら

ず、家族の一員であるペットと一緒に暮らすことができるように、入居する際の費用を支援するために行う。
寄附金の募集：当法人のウェブサイト等で寄附金募集を周知するが、寄附金の使途について、ペット可物件への入居費用に充てることを趣旨とし、併せて支援金の振込手数料等への充当、残金の処理方法についても明示した上、寄附金を募集する。
支給額と残金処理方法：支給額は、集まった寄附金の範囲内で、理事会において決定するが、寄附金の残金が生じないよう努めるとともに、やむを得ず残金が生じた場合は、その後の別の激甚災害の支援金助成事業の原資とし、それ以降も同様の処理をし、目的外使用はできないものとする。
確認体制：当法人アドバイザリーボードメンバーの内2名が、必要書類等を確認する。この確認結果に基づいて、理事会が支給の可否を決定し、その結果を申請者及び宅建業者に通知する。

【令和 7 年度実施】
令和 6 年 4 月に被災地を訪問し、状況の聞き取りを行い、支援金助成事業の案内を行った。
＜広報＞
・助成事業のページをウェブサイトに公開
・現地の事業者へ、案内掲示依頼
・メールマガジン配信による情報提供
＜助成申込＞令和 8 年 3 月 31 日現在 3 件（うち 3 件支給）
＜寄附金額＞令和 8 年 3 月 31 日現在 6 件 135,000 円

6．SDGs 推進事業 ―One World, One Life―

誰一人取り残さない社会を目指す国連の SDGs の 17 の目標を達成するため、日本でも政府が“「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現”をキーワードに、あらゆるステークホルダーの参画を重視し、官民の垣根を超えた形で連携を推進する指針を掲げている。

当法人の事業において、SDGs の 17 の目標の多くに貢献してきており、特にゴール 17 の「パートナーシップで目標を達成しよう」というのは、自治体や企業・他団体との連携を 図り課題を解決してきた Knots の在り方そのものである。

人も動物も幸せな社会に向けての事業を継続してきた中で、「人もまた生き物である」という視点から生まれた、「りぶ・らぶ・あにまるず ICAC KOBE 2015 第 4 回神戸全ての生き物のケアを考える国際会議 2015」のテーマ「One World, One Life ―ひとつの豊かな地球は、ひとつひとつのいのちの幸せを繋いでいくことで構築されていくー」を、当法人設立 20 周年を迎えての次のステップへのテーマとした。この概念は SDGs と目標を同じくするものであり、今後もステークホルダーとして更なる貢献ができるよう、行政機関や他団体・企業と連携を図り、SDGs を推進する事業を行う。

SDGs の推進のために必要な様々な情報収集と研究を行い、セミナーや体験活動等の実施を通して人材育成・教育の機会を設ける。希望すれば誰もが学べるよう、リモートでの参加や実施した記録・資料を可能な限りウェブサイトで公開する等、幅広い情報提供を行い、フェスティバル等のイベントにおいても、情報発信を行う。また、SDGs を

推進し、誰一人取り残さない社会の実現の為に、必要な相談業務を行い、支援を必要とする人が必要な支援を受けられるよう関係機関と連携を図る。

１）「兵庫県多可町での SDGs 事業推進」

令和 3 年度 6 月に多可町と締結した包括連携協定に基づき、多可町役場と協働し、必要に応じて、支援を行う。

【令和 7 年度実施】
なし

２）「神戸市での「こうべ動物共生センター」管理運営業務」

神戸市においては、令和 3 年度に神戸市北区のしあわせの村に開設された「こうべ動物共生センター」の管理運営業務を行う。仕様書に基づき、啓発・教育事業等を担う他、「幸せな動物との共生」を支えるプラットフォームの構築を目指す。
令和 8 年度こうべ動物共生センター管理運営業務委託公募型プロポーザルで当法人が継続して受託することとなり、受託期間は令和 10 年 3 月 31 日までの予定である。

【令和 7 年度実施】
神戸市の仕様書に基づき、以下のとおり業務を行った。
《共生センター開所実績》　307 日（休館日：火曜日・年末年始の閉庁日）

・受託者企画事業
「セラピー研究フィールド」
人と動物相互の科学的影響を明らかにし、広く市民生活の質の向上に貢献し、国内外へ情報発信できるよう、令和 3 年度に国内外の専門家による研究フィールドを構築した。調査・研究の成果は、個人情報に配慮した上で、こうべ動物共生センターウェブサイト上で提供し、市民への利便を図ると共に、国内外へ情報発信を行う。セラピー研究フィールドアドバイザーを以下の先生方に務めていただいている。
＜セラピー研究フィールドアドバイザーの先生方＞
《チーフアドバイザー》
中山裕之先生（東京大学名誉教授／動物医療センターPeco 獣医療研究所長）
《アドバイザー（五十音順）》
加藤元先生（ダクタリ動物病院総合院長・コロラド州立獣医科大学客員教授兼アンバサダー）
木下美也子先生（グリーン・チムニーズ&ファーム サム&マイラ・ロス研究所教育プログラム部長／神戸市出身・アメリカ）
柴内裕子先生（赤坂動物病院総院長／公益社団法人日本動物病院協会 相談役）
島村俊介先生（大阪公立大学 獣医学部 小動物臨床医学 准教授）
谷口優先生（国立研究開発法人国立環境研究所 主任研究員／地方独立行政法人東京都長寿医療センター 協力研究員／東京大学客員研

究員／メルボルン大学客員研究員）
土居裕和先生（長岡技術科学大学 技学研究院 情報・経営システム系 准教授）
Andrea Beetz 先生（MA 心理学／博士号（心理学）／博士号（特殊教育）特別・インクルーシブ教育教授 IU 国際応用科学大学・ドイツ）

「こうべ動物共生プラットフォームの構築」
市民がプラットフォーム上で自身の課題解決を相談し、サービスを活用できるよう、引き続き「こうべ動物共生プラットフォームの構築」については神戸市と調整していく予定である。

「市民へのセンター成果のフィードバック及び課題収集」
・専用ウェブサイトでの情報発信
・「出没・こうべ動物共生センター」（出前型事業）
各地域で開催されるイベントについては、しあわせの村で開催された「きたきたまつり」（2025 年 6 月 7 日（土））に出店し、こうべ動物共生センターの事業 PR を行った。
また、神戸港ワンハートバースで 2 回開催された「ワンハート防災デイ～みんなでひとつになり、学防災（まなぼうさい）～」（2025 年 4 月 26 日（土）～27 日（日）、11 月 22 日（土）～23 日（日））にブース参加し、同行避難についての啓発や「災害時のペットとの避難ガイドライン」を PR する缶バッジ作り等行った。

「こうべ動物共生情報の提供・収集」
こうべ動物共生センター専用ウェブサイト上に「こうべ動物共生プラットフォーム情報提供コーナー」を設け、ペットとの暮らしを支える獣医療、しつけ方教室、ペットと入居可能な住宅や施設などの情報や、イベント情報、ペットが入れる避難所などの防災情報などの共生支援情報を提供する計画については、当年度で実施できなかったため、令和 8 年度以降に持ち越しとなった。

・アニマルセラピー　動物ふれあい事業
「わんちゃん読書会」　3 回
「出張！わんちゃん読書会」　2 回
実施施設：こども本の森 神戸／神戸市立須磨図書館
「わんちゃんお出かけセラピー」　4 回
「犬猫とのふれあい体験（高齢者向け）」　4 回
「アニマルセラピーについて学ぶ講演会」　1 回
講師：谷口優先生（セラピー研究フィールドアドバイザー）

セミナー

「一緒に暮らすを尊重する～ペットと最後まで一緒に暮らすためには～」

1回

〔協力:「人もねこも一緒にプロジェクト」／神戸市社会福祉協議会 北神事務所 ／こうべ終活相談窓口／神戸市動物管理センター〕

「教えて！介助犬」 4回

〔協力：認定特定非営利活動法人兵庫介助犬協会〕

・子どもを対象とした動物共生教育事業

「獣医師体験プログラム／動物のプロに学ぶ」 12回

・「水族園のお医者さん」
〔協力：神戸須磨シーワールド〕

・「犬や猫のフードについて」
〔協力：ネスレピュリナペットケア〕

・「獣医師になるためには」(獣医師を目指す)
〔協力：大阪公立大学〕

・「介助犬トレーナー体験」(2回開催)
〔協力：兵庫介助犬協会〕

・「犬や猫のツボについて知ろう」
〔協力：中野あや獣医師〕

・「麻薬探知犬の仕事を知ろう！」
〔協力：神戸税関〕

・「犬や猫のお医者さん」(4回開催)
〔協力：もみの木動物病院〕

・「動物園の動物について知ろう」
〔協力：神戸市立王子動物園〕

犬とともだちになろう」 4回

「いのちの教育」プログラム

・神戸市立真陽小学校 3年生2クラス
・神戸市立広陵小学校 2年生3クラス
・垂水ボーイスカウト（体験授業 プログラムⅠ）
・星和台学童保育所（体験授業 プログラムⅠ）

「こうべ動物共生センターサマースクール」 3回

※うち1回は秋に「オータムスクール」として開催

・飼い方相談事業（犬のしつけ方教室・犬猫のしつけ相談）

プログラム構築のため、有識者・経験者で**「適正飼養アドバイザー会議」**を設置し、以下の機能を持たせる。

①共生センターのしつけ方教室・しつけ相談のプログラム構成
②上記プログラム実施に向けてのアドバイス

③各区での教室・相談に対応できる体制づくり
④こうべ動物共生プラットフォームの研修体制の整備

＜適正飼養アドバイザーの先生方＞

《座長》
村田香織先生（獣医師／公益社団法人日本動物病院協会（JAHA）認定家庭犬しつけインストラクター）

《メンバー》
近藤悦子先生（獣医師／JAHA 認定家庭犬しつけインストラクター）
中塚圭子先生（JKC 公認訓練士／JAHA 認定家庭犬しつけインストラクター）
礒見　優先生（獣医行動診療科認定医／JAHA 認定こいぬこねこ教育アドバイザー）

適正飼養アドバイザー会議の中で開催教室について協議し、以下のとおり実施した。

「老犬と楽しく暮らすためのセミナー」　2 回
「お散歩診断」　実践 3 回
「犬猫についてもっと知ろう」　3 回
内訳：「犬についてもっと知ろう」　2 回
「猫についてもっと知ろう」　1 回

・犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）
飼い方相談・犬猫のしつけ相談（電話・メールによる相談、来所による相談）を受け付け、令和 6 年度は、電話・メールによる相談は　　件、来所による相談は　　件に対応した。
「子犬のしつけ方相談会」　2 回

・防災関連事業
「ペットとの災害避難マップ」を作ってみよう！
「説明会・作成会」　2 回
＜表彰式＞
令和 7 年 10 月 5 日（日）　会場：しあわせの村芝生広場
「こうべ動物共生フェスティバル」（神戸市獣医師会との共催）において表彰式を行い、「あいおいニッセイ同和損保賞」「こうべ動物共生センター長賞」「Knots 賞」「神戸市獣医師会賞」が贈られた。表彰された作品は、こうべ動物共生センターふれあい室に展示し、啓発に活用している。
「災害に備えたしつけ方講座」
「災害に備えたしつけ方」　1 回
「かみ癖への対応」　1 回
「同行避難のためのしつけ」
ワンハート防災ディで各日 3 回　計 12 回

・来場者促進事業

「うちの子写真・絵画展」　4 期実施

市民から広く募集したペットの写真・絵画をふれあい室に展示、応募した来場者には応募写真の缶バッジを作成してプレゼントした。

第1期　4 月募集　展示期間：5 月～7 月
第2期　7 月募集　展示期間：8 月～9 月
第3期　10 月募集　展示期間：11 月～1 月
第4期　1 月募集　展示期間：2 月～4 月

「体験型ワークショップ」

「パステルアート」　1 回
「スマホ撮影教室」　1 回
「写真立て作り」　1 回
「アジリティ体験」　1 回

「こうべ動物共生フェスティバル」

こうべ動物共生センター会場としあわせの村芝生広場会場において、神戸市獣医師会と協力し、事業内容について広く知っていただくためにフェスティバルを開催し、以下のプログラムを実施した。

＜参加型プログラム＞

バックヤード見学＆ふれあいツアー（動物飼養棟のバックヤードおよび譲渡候補犬・猫の見学とふれあい）／歯磨き教室／スマホでペット写真教室／アジリティ体験／写真立て作り

・専用ウェブサイト　https://kobe-chai.jp

こうべ動物共生センターのコンセプトや事業内容について情報発信を行うと共に、各事業の参加者募集案内や事業実施レポートを随時更新し、こうべ動物共生センターおよび事業の PR を行った。各種プログラムへの参加はウェブサイトから申込を受け付けている。また、資料・報告を専用ウェブサイト上で提供することで、来所できない市民への利便を図っている。しつけ方教室や飼養相談およびその対策等については事例として紹介して市民に情報を提供している。こうべ動物共生センターで実施している事業の成果を活用し、市民の様々な課題に対し、解決・相談の場が整備されていることを報せている。専用ウェブサイトは日本語だけでなく、英語、ドイツ語、中国語などにも対応し、国内外への情報発信を行った。このように、専用ウェブサイトは、市民がこうべ動物共生センターの事業に参加するなどして関わる「市民とのコミュニケーションの場」として、「国内外への広報」として、重要な役割を担っている。

・センターの管理・運営に関する業務としては以下の業務を行った。

電話対応／来所者対応／メール対応／見学・視察対応／取材対応／市主催の事業（犬猫譲渡制度）の補助

こうべ動物共生センター管理運営業務における全ての事業は IAHAIO 白書（IAHAIO 動物介在介入の定義と AAI（動物介在介入 Animal Assisted Interventions）に係る動物の福祉のガイドライン）に沿って実施した。

IAHAIO

IAHAIO は、人と動物との相互作用の正しい理解を促進させるために各国で活動している学会、協会等の国際的な連合体として、米国の Delta Society（現 PetPartners)、フランスの afirac、イギリスの SCAS が中心となって 1992 年に設立した。IAHAIO の使命は、人と動物の相互作用（Human Animal Interaction=HAI）の分野を進歩させるために、国際的な指導力を提供する。

Knots は IAHAIO のフルメンバーになっている。

3）「ペットも一緒に SDGs！」

SDGs をより一般化する試み―「人とペットとの暮らし」の視点を活かした SDGs の取り組みを紹介・推進していく―により、カーボンニュートラルの取り組みやペットツーリズム等を通して SDGs 推進に貢献する。その視点を広めるため、ウェブサイト上等で情報発信を行い、呼びかけ・啓発を通してペットとの暮らしが人の健康に寄与するものであることも広く伝えていく。

【令和 7 年度実施内容】

ペットツーリズムに取り組む一般財団法人神戸観光局監修のペットと一緒に出かけられる観光スポット案内「ペットと旅する KOBE」を、当法人が神戸市より管理運営業務を受託しているこうべ動物共生センターにおいて広く市民に配布した。

Ⅱ　組織の運営に関する事項

1　社員総会の開催状況

	開催年月日	主な議決事項等
定時	令和 7 年 6 月 11 日	・第 15 期計算書類等承認の件（承認可決） ・理事の報酬の額承認の件（承認可決） ・理事選任の件（承認可決）
臨時	令和 7 年 9 月 21 日	・理事就任（新任）の件（承認可決） ・第 15 期決算報告書 財務諸表に対する注記修正承認の件（承認可決）

2　理事会の開催状況

	開催年月日	主な議決事項等
第 76 回	令和 7 年 5 月 25 日	・令和 6 年度 事業報告の承認の件（承認可決） ・令和 6 年度（第 15 期） 計算書類の承認の件（承認可決） ・理事の報酬の額承認の件（承認可決） ・役員任期の件（承認） ・役員選任の件（承認）

		・顧問選任の件（承認） ・就業規則一部改正の件（承認） ・定時社員総会招集の件（承認） ・職務の執行状況の報告
第77回	令和7年6月11日	・代表理事選定の件（承認可決）
第78回	令和7年8月29日	・理事就任（新任）の件（承認可決） ・第15期決算報告書 財務諸表に対する注記修正承認の件（承認可決）
第79回	令和8年3月7日	・令和8年度事業計画案承認の件（承認可決） ・令和8年度収支予算案承認の件（承認可決） ・職務の執行状況の報告

3　役員に関する事項

地　　位	氏　　名
顧　　問	中山　裕之
代表理事	冨永　佳与子
業務執行理事	白川　美玖
業務執行理事	鈴木　豊彦
理　事（外部）	佐藤　剣
理　事（外部）	西山　さよ
監　事（外部）	堀尾　政博
監　事（外部）	岡田　裕正

4　辞任した役員の氏名

地　位	氏　　名	退任月日・退任事由
理　事	小椋　聡	令和7年6月11日・自己都合

5　法人の運営組織の状況に関する重要な事項

ガバナンスが機能した理事会を運営することは、理事の重要な職務執行であり、これを更に適切に機能させるため、理事の法令等順守に対する認識を高め、理事会でのガバナンス機能の強化に努めた。

○　公益法人内部における規範

毎月、理事、職員の合同会議を行い、就業規則、定款に沿った運営を確認している。

○　公益法人の機関別（理事会、監事）における具体的取組

外部理事、監事には、当法人の理念を深く理解し、社会的経験、地位などを勘案し、適任者を選任している。

役員へは、定期的に事業状況の報告を行っている。

○　不祥事の予防・発見・事後対応の仕組み

業務について、実施状況および会計内容を毎月担当者より、理事へ報告点検を行っ

ている。

顧問弁護士を契約しており、事業全体の状況につき、相談、指導を受けている。

○　社会的課題の解決に向けた事業の効果に係る定性的・定量的測定

事業参加者へのアンケート調査、意見聴取、などにより、実施する事業内容を策定している。

Ⅲ　その他法人の状況に関する重要な事項

令和 7 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2026 年 5 月
公益社団法人 Knots